



Avid® Editing Application

ReadMe for Media Composer® v2022.10

重要: ソフトウェアの最新アップデートは、www.avid.com/us/support/downloads からダウンロードできます。上記サイトから最新のアップデート情報を定期的にご確認ください。

重要な情報

新しいソフトウェアをご使用になる前に、この文書を必ずお読みください。

重要: 文書は最新の情報を反映した内容に変更される場合があります。Avid Knowledge Base で常に最新の ReadMe をご確認ください。

この文書には、以前のバージョンとの互換性やインストール方法、ハードウェア・ソフトウェアの稼働要件、システムやメモリに関する情報、ハードウェアやソフトウェアに関する制限についての情報等が書かれています。

目次

記号と表記法について	3
困ったときは.....	3
Media Composer に関する注意	4
SRTに関する注意.....	5
セキュリティーガイドライン	5
Media Composer v2022.10 で修正された不具合	6
既知の問題.....	8
インストールの前に	9
(Windows) インストール中の上書き	10
Media Composer Enterprise および Media Composer Distributed Processing.....	10
MediaCentral Production Management 環境へのインストールの前に	10
バッファエラーメッセージ	10
解凍時のエラーについて.....	10
“Raise Thread Priority”権利.....	10
管理者 (Administrator) としてインストール.....	10
インストールの後に	10
AMA プラグイン.....	10
ソフトウェア・ライセンスについて	11
OS をアップデートする時は	11
RAM 最小要件	11
認証ハードウェアとオペレーティングシステム	11
認証ワークステーションおよびラップトップ	11
機能別稼働要件	12
Avid Artist I/O デバイス互換表	14
システムバージョン互換表	14
オーディオデバイスとの互換について	15
NVIDIA カードのセットアップ.....	16
共有ストレージサポート.....	16

記号と表記法について

この文書では、以下の記号と表記法を使用します。

記号と表記法	意味
	関連する重要な情報、推奨される動作等のコメントです。
	誤った操作をするとシステムを破損したりデータを失ったりする恐れがあります。
	誤った取り扱い方をすると身体的な傷害を負う恐れがあります。電気機器を扱うときは、この文書または機器自身に付属のガイドラインをお読みください。
>	メニューコマンド（またはサブコマンド）を示します。例えば「ファイル>インポート」とは、まずファイルメニューを開き、続いてインポートコマンドを選択することを意味します。
▶	単一ステップの手順を示します。この記号が複数あるときは、その中から一つの動作を選んで実行してください。
(Windows), (Windows のみ) (Macintosh), (Macintosh のみ)	Windows または Mac のみに適用される操作や情報を示します。
太字	主にユーザーインターフェース上のアイテムを示します。
<i>斜体</i>	特定の言葉を強調するときや変数を示します
Courier Bold font	キーボードから入力するコマンドを示します
Ctrl+ キー またはマウス	最初のキーを押したまま、次のキーを押すか指定されたマウスアクションを実行します。例えば Command+Option+C、Ctrl+ドラッグ等です。
(パイプ)	MediaCentral Production Management のような Avid の製品名で使用します。この文書では、パイプは項目名、または最初に登場したときに使用します。

困ったときは

Avid 製品を使用中に問題が発生した場合は:

1. ガイドを注意深く読みなおしながら、もう一度操作を実行してください。操作の一つ一つを確実にチェックしてください。
2. ReadMe の新しいアップデートが出ていないか確認してください。最新の ReadMe は Web サイトにアップロードされています。オンラインで ReadMe を確認するには、Help メニューから「お読みください」を選択するか、<http://www.avid.com/readme> から ReadMe を検索してください。
3. Avid アプリケーションやハードウェアに付属の文書を確認してください。必要な文書はアプリケーションインストール時に PDF 形式でシステムにコピーされます。Help メニューの内容は、レイアウト上の制約から、印刷には適さない場合があります。詳細で見やすい情報が必要な場合は PDF バージョンを印刷してお使いください。
4. オンラインサポート www.avid.com/onlineSupport/ をご確認ください。エラーメッセージやトラブル対応、Tips、アップデートのダウンロード等は Knowledge Base をご利用ください。

Media Composer に関する注意



Media Composer v2022.10 は MediaCentral | Production Management をサポートしていません。



(mac のみ) : macOS Catalina では、32-bit アプリケーションはサポートされません。以前のタイトルツール、Marquee ツール、QuickTime レガシーコーデックはインストールされません。Catalina 以前のシステムに Media Composer をインストールする場合は、これらのツールについて、別のインストーラーが用意されていますので、これを使って別にインストールしてください。QuickTime が既にインストールされている場合は、レガシーコーデックのみをインストールします。インストーラーは "Media Composer Legacy Components 2020.4 Mac" です。MyAvid リンクまたはダウンロードセンターからダウンロードできます。



(mac のみ) : macOS Catalina 以上では、DMF (ダイナミックメディアフォルダ) はサポートしていません。



MCDEV-11537 Avid Artist DNxIQ でフルフレーム・ステレオスコピック機能をお使いの場合、現バージョンの問題が解消されるまでは Media Composer v2018.12.x をお使いください。



Media Composer v2022.7 以降で作成されたグループクリップまたはマルチグループクリップのサブクリップは、オリジナルのサブクリップを読み込みます。Media Composer v2022.7 以前のバージョンで作成されたグループクリップまたはマルチグループクリップのサブクリップは、グループクリップまたはマルチグループクリップを読み込みます。

- Avid DNxIQ や Avid DNxIV のような I/O デバイスを接続しているときは、Media Composer v2022.10 を最初に起動するときに手動でデバイスを選択し、出力デバイスとして有効化する必要があります。タイムラインウインドウの HW/SW ボタンを右クリックし、使用したいデバイスを選択してから HW/SW スイッチを On にして有効にします。次回 Media Composer を開いたときは、この設定が使用されます。
- (MCCET-4684) SCC ファイルをインポートしたとき、行が混ざったり重なったりした結果、テキストが一気に表示されることがあります。これを防ぐためには、SCC ファイルから Duplicate Control Code を削除してください。
- (MCCET-2541) Avid Artist DNxIO または Avid Artist DNxIQ を使用しているときは、Windows OS の「サウンド」コントロールパネルから、BlackMagic Audio のライン入力録音を無効にしてください。
- Desktop Video v10.10.1 は Media Composer 2018.5.1 以前のバージョンにはインストールしないことをお勧めします。
- **Avid Artist DNxIO および Avid Artist DNxIQ について** : Avid Artist DNxIO、Avid Artist DNxIQ、Blackmagic Design の各ビデオデバイスをお使いの場合、Desktop Video ソフトウェアは v11.0 以上をお使いください。Avid Artist DNxIV 及び Avid Artist DNxIP をお使いの場合、AJA ソフトウェアを v15.2 以降に更新してください。
- **認証されているオペレーティングシステム** : 詳細については、[認証ハードウェアとオペレーティングシステム](#)をご参照ください。
- **dongle (Mac のみ)** : Dongle Sentinel ドライバーは、アプリケーションのインストールと同時にインストールされません。ドライバーは Avid_Uilities フォルダ (/Applications/Utilities/Avid_Uilities/Sentinel_Driver) にあります。dongle を使用している場合は、この場所から手動でインストールしてください。



Sentinel ドライバーをインストールするときは、システム環境設定の「セキュリティとプライバシー」でドライバーのアクセスを許可していることを確認してください。

- \Program Files\Avid\Avid Media Composer\SupportingFiles\Utilities フォルダに **dnxmov2mxf** という実行ファイルがあります。これは、アルファが別に保存されている DNX 圧縮された MOV がファイルを、アルファをエンベッドした MXF OP1a に変換します。
このツールは Windows、osX、Linux で使用できます。Windows で起動するには、Visual C++ Redistributable for Visual Studio 2015 または Visual C++ Redistributable for Visual Studio 2017 が必要です。
Windows のコマンドプロンプトまたは macOS のターミナルから以下を実行してください。
dnxmov2mxf path_to_mov [path_to_mxf]

SRT に関する注意

SRT に関する詳細は、Help メニューの ”Open IO Support for SRT” をご参照ください。

出力

- SRT が本来的に圧縮ストリーミングである点と、受け側のアプリケーションの性能差等により、出力された映像は Media Composer 内のビューワーと同期が取れない場合があります。デコーダーの性能によっては、Media Composer 内のビューワーから数秒ズレる可能性があります。ネットワークの速さによっては、デコーダー側のバッファリング設定を変更する必要があるかもしれません。

SRT クオリティビットレート

- デフォルト設定は、1080p/29.97 において、Quality の設定が Low で 5-15 Mb/sec、Medium で 10-30 Mb/sec、High で 30-80 Mb/sec です。ビットレートは可変であり、送出されるメディアの内容によってはこれを超える可能性もあります。ビットレートはフレームレートとラスタースイズによって変化し、また送出される絵の内容によっても変わります。
- SRT では 8bit のみのサポートです。Media Composer のプロジェクトが 10bit だったときは、I/O は自動的に 8bit に変更されます。

プロジェクト/メディアサポート

- 2K/UHD/4K プロジェクトは、同じフレームレートの HD にダウンコンバートされます。例えば UHD 4k 23.976 で SRT を使用すると、HD 23.976p にダウンコンバートされます。
- インターレースフォーマットはネイティブサポートされません。同じフレームレートのプログレッシブとして送出されます。
- オーディオはステレオミックスされます。
- RGB はネイティブサポートされません。YUV に変換されます。



SRT プラグインは、Media Composer | Enterprise および Media Composer | Ultimate でのみサポートされます。

セキュリティガイドライン

システムとネットワークへのセキュリティ攻撃は、近年ますます独創的かつ持続的になっています。Avid は新しいセキュリティ戦略を採用して、お客様とパートナーが資産と知的財産をより適切に保護できるようにしています。ご存知のように、これまでも Avid は、Avid 製品ラインの多くで推奨される最適なソリューションとして、Symantec Endpoint Protection を推奨してきました。2020 年第 3 四半期の時点で、Avid は、Avid システムを保護するための一般的なガイドラインを提供する、より柔軟な戦略を導入しています。この新しいポリシーにより、Avid のベストプラクティスに従いながら、組織に最適なセキュリティソリューションを選択できます。Avid Media Composer システムには、Endpoint Detection and Response (EDR) をインストールすることができます。Avid は特定のソリューションをサポートするものではありませんが、CrowdStrike Falcon に関する一般的な情報とガイドラインについては、以下をご参照ください。

https://avid.secure.force.com/pkb/articles/en_US/troubleshooting/en239659

Media Composer v2022.10 で修正された不具合

- **Bug Number: MCDEV-15479** 再生中にタイムラインをズームイン/アウトすると青いバー（現在の再生位置）を中心にズームされ、[Timeline] 設定で「再生中の動作」を [スクロール] にしてもユーザーが選択した位置を保持しない。ユーザーが選択した位置を保持し、再生が止まるとポジションインジケーターが中心に戻るように修正しました。
- **Bug Number: MCCET-4799** 日本語の名前がついたカスタムプリセットが正しくデコードされない。
- **Bug Number: MCCET-4233** 1080i/50 シーケンスで Titler+ のレンダリングが異常に遅い。
- **Bug Number: MCCET-4779** タイムライン上で編集されたオーディオに AudioSuite エフェクトを適用してプレビューすると、編集点より後の部分も再生してしまう。
- **Bug Number: MCCET-4580** 1080p/24 プロジェクトで、ソースビューワーを使ってオーディオトラックにマーカーを追加すると、タイムライン上でマーカーがランダムな位置にジャンプする。別のプロジェクト設定だと、マーカーウインドウでマーカーをクリックすると、ポジションインジケーターがランダムな位置にジャンプする。
- **Bug Number: MCDEV-15844** 新規プロジェクトをつくと、デフォルトで作成されるピンがフローティングウインドウで表示される。
- **Bug Number: MCDEV-14054** List Tool で変更を施しても、対応する設定名が更新されない。
- **Bug Number: MCDEV-13183** タブ化されたピンをピンコンテナからドラッグすると、ピンコンテナサイドバーのついたフローティングウインドウとして表示される。
- **Bug Number: MCDEV-16494** ホストパネルを最大化した状態でプロジェクトを一度閉じてから開き直すと、最大化の状態を維持できない。
- **Bug Number: MCCET-4634** マーカーウインドウのコメントコラムが大きすぎて、コメントを入力すると画面外へスクロールしてしまう。
- **Bug Number: MCCET-4772** 何も変更されていないピンが Attic に保存される時、必要以上に大きなサイズのファイルになってしまう。
- **Bug Number: MCCET-4726** Media Composer 起動時のスプラッシュスクリーンで、オプション内容とライセンス日の情報が表示されないことがある。
- **Bug Number: MCCET-4661** Production Management ウインドウからソースモニターに読み込まれたシーケンスが既に開かれたピンに存在しているとき、そのシーケンスの名前に ".copy.01" がつけられる。自動的にコピーされたものであることを明示するため、"AutoCopy.01" に変更しました。
- **Bug Number: MCCET-4768** キーボードショートカットでクイックトランジションダイアログを開くと、「すべてのトランジションに適用 (In -> Out)」が選択されていても「既存のトランジションエフェクトをスキップ」が選択できない。
- **Bug Number: MCCET-4592** 「編集」ワークスペースから「エフェクト」ワークスペースに切り替えると、Media Composer がセグメントモードになる。
- **Bug Number: MCCET-4736** File129 で EDL を出力すると、正しい文字数が割り当てられず、解析できなくなる。
- **Bug Number: MCCET-4567** デュアルモニター環境でワークスペースを切り替えると、最上部の

メニューバーが表示されなくなる。

- **Bug Number: MCCET-4236** カスタムビンレイアウトが設定されたワークスペース間を素早く切り替えると Media Composer がクラッシュする。
- **Bug Number: MCCET-4728** オーディオが Dante インターフェースから、ビデオが NDI から出力されると、断続的にクリックノイズが入る。
- **Bug Number: MCCET-4637** ワークスペースレイアウトが正しく読み込まれず、ドックしたビンのドックが外れる。
- **Bug Number: MCCET-4687** [出力] メニューから [送信] を選択すると、モーションエフェクトのパラメーターがリセットされ、エフェクトのレンダリングが外れる。
- **Bug Number: MCCET-4629** グループクリップが含まれたオーディオトラックにトラックエフェクトを乗せると、グループクリップが切り替わらなかったり、正しく表示されなくなったりする。
- **Bug Number: MCCET-4537** AVC Long GOP 50 1080p メディアで Send to Playback ができない。
- **Bug Number: MCCET-4644** ビンやソースモニターからサブクリップをエクスポートすると、"invalid trim"エラーが出る。
- **Bug Number: MCCET-4771** (Windows) ビンが開くのに異常に時間がかかることがある。
- **Bug Number: MCCET-4782** 波形表示を有効にすると、ビンやシーケンスでの作業中にパフォーマンスが悪くなる。
- **Bug Number: MCCET-4211** Titler+で、キーフレームを持ったテキストをテキストボックスから削除すると、不必要なキーフレームがつく。
- **Bug Number: MCCET-3408** (macOS) フルスクリーン再生の状態でタイトルツールのタイトルを保存すると、Media Composer がクラッシュする。
- **Bug Number: MCCET-4540** ビンを移動したりフォルダーを閉じたりすると、その上位のアイテムが勝手に選択される。
- **Bug Number: MCCET-4705** (macOS) スクリプトウインドウを右クリックすると、ビンファストメニューが表示される。
- **Bug Number: MCCET-4585** プロジェクト作成時にフィルムオプションが選択されていると、オーディオパンチインが正しく動作しなくなる。
- **Bug Number: MCCET-4516** キャプチャーツールでライブキャプチャー中に、ビンの中の対応するカスタムコラムの情報が正しく表示できず、ログだけ実行される。
- **Bug Number: MCCET-4184** Titler+で中国語を入力すると、入力から表示されるまでに時間がかかる。
- **Bug Number: MCCET-4620** Audio EQ が適用されたオーディオクリップに D-Verb を適用してネストすると、設定がリセットされてしまう。
- **Bug Number: MCCET-4674** 新規プロジェクトを作成すると、必ずフローティングビンがデフォルトになってしまう。
- **Bug Number: MCCET-4658** エクスポート時にカスタムプリセットを使用すると、その設定を維持できない。

- **Bug Number:** MCCET-4462 AVC-I Class 100 1080p50 メディアがリンクできず、バージョンによって"The media is unsupported" または "ExceptionUNKNOWN horizontal subsampling error" エラーが出る。
- **Bug Number:** MCCET-4702 (macOS) オーディオミキサーツールで Enter キーを押しても数値が入力できないことがある。

既知の問題

以下の問題は既知の問題です。

- QuickTime がインストールされていないシステムでは、Photoshop PSD ファイルの AMA リンクはサポートされていません。
- 特定のフォントでは、太字しか持っていないものがあります。Mac システムにおいては、フォントを選択しても何も変化が起きないことがあります。このときは、**Bold** を選択してみてください。
- ダイアログで有効にしているにも関わらず、プロジェクト起動時に “Enable 3rd Party Emulation” メッセージが出る場合は、[ファイル]メニュー>[設定]を選択し、[プロジェクト]タブをクリックします。次に [General] 設定を開き、“Enable Bin Sharing on 3rd party storage emulating Avid NEXIS/ISIS” を選択してください。
- **Bug Number:** MCDEV-16685 SRT が無効のとき、ハードウェア設定がプロジェクト設定を正しく引き継げず、UHD と HD フォーマットの間でミスマッチが発生し、キャプチャーツールでエラーが出る。
回避方法: SRT が無効でキャプチャーツールが開いているときは、ビデオ出力を手動で設定してください。
- **Bug Number:** MCDEV-15629 Matte Key クリップに対してプロキシを作成しても、アイコンの色が変わらない
回避方法: プロキシが作成されているかどうかは、Proxy Offline コラムを確認してください。
- **Bug Number:** MCDEV-17081 ハイレゾファイルが存在しないのにメッセージが表示されず、プロキシメディアを使って出力される
- **Bug Number:** MCDEV-15413 データトラックが壊れていると、リンククリップからプロキシが作成できないことがある。
- **Bug Number:** MCDEV-16119 (Avid Artist DNxIQ) オーディオをキャプチャーしようとする時、“Audio/video is unexpectedly no longer coming into the system” エラーが出る。このエラーが出るのは最初の一回だけで、その後は問題なくキャプチャーできるようになります。
回避方法: 最初にビデオをキャプチャーし、その後ビデオをオフにしてキャプチャーしてください。
- **Bug Number:** MCDEV-15843 (Windows 11) ファインダーからビンにドラッグ&ドロップできないことがある。
回避方法: インポートまたはリンク時には、ソースブラウザーを使ってください。
- **Bug Number:** MCDEV-14845 Media Composer が Software Only モードだと、Media Composer | Enterprise Admin ツールで NDI 機能を制限できない。

- **Bug Number: MCCET-3702** HD インターレースシークエンスに UHD プログレッシブクリップを追加したときの画質。

Media Composer では、プロジェクトの設定にクリップのフォーマットを合わせるとき、mix and match の処理を行います。まずモーションアダプターを適用し、次に解像度を z 法制します。

例えば、1080i タイムラインに UHD 50p クリップを追加するときは、まず UHD クリップを 2 つのフィールドに分割し、それぞれのフィールドを 1920x540 のサイズに変更します。最後にこれらのリサイズされたクリップを一つに合わせますが、このときオリジナルの鮮明さは失われてしまいます。

回避方法：UHD プログレッシブを HD プログレッシブにトランスコードしてから、これを HD インターレースシークエンスに追加すると、UHD から HD へのサイズ変更プロセスは 2 つに分割するプロセスの前に実行されます。

- **Bug Number: MCCET-3788** OP1a オーディオクリップを重畳した AAF をエクスポートしようとすると、“clip name is a clip in a multi-essence file that cannot be exported using the specified Embedded in AAF setting” エラーが出ることもある。

回避方法：エクスポート前に、OP1a ファイルを OP-Atom にコンソリデートしてください。

- **Bug Number: MCDEV-12988** (macOS) Media Composer v2020.4 では、AMA Drasticpy ラグインはサポートされません。

- **Bug Number: MCDEV-12735** Radeon グラフィックカードを使用していると、Maestro グラフィックがタイムラインで表示されない。

- **Bug Number: MCDEV-11481** モーションアダプターが含まれていると、Title Tool アプリケーションで作成したタイトルが Avid Titler+ にプロモーションできない。

- **Bug Number: MCCET-11796** 10bit 以上の DPX が正しくリンクできない

回避方法：[ファイル]>[設定]を開き、[User] タブをクリックします。[Link] 設定で[リンクオプション]からアルファチャンネルを [無視] に設定してください。

- **Bug Number: MCDEV-14376** メディアツールが [現在のプロジェクト] オプションを無視し、現在のプロジェクトとは関係ない MXF OP1a メディアまで表示する。

- **Bug Number: MCDEV-8641.** (AMD Graphics) AMD グラフィックカードを搭載したシステムでフルスクリーン再生すると、画面がティアリングする。

- **Bug Number: MCDEV-9269.** (Media Composer | Cloud) AVC-I 100 メディアを含んだシークエンスを Remote Download すると、ダウンロードされたメディアが XAVC-100 と表示される。

回避方法：マスタークリップ全体をダウンロードしてください。

- **Bug Number: COGS-2560.** スクリプトウインドウで、エディットモード以外ではテキスト操作 (カット/コピー/ペースト/削除/編集) ができない。詳細は Help の “Editing a Script” をご参照ください。

- **Bug Number: MCDEV-5385.** Panasonic LongG メディアを使ったマルチカメラ編集は、このバージョンではサポートされていません。

インストールの前に

(Windows) インストール中の上書き

v2020.12.x 以降のバージョンからアップデートするときは、上書きを実行するか尋ねられます。それ以前のバージョンからのアップデートの際は、まず以前のバージョンをアンインストールしてください。

Media Composer | Enterprise および Media Composer | Distributed Processing

Media Composer | Enterprise および Media Composer | Distributed Processing をお使いの場合、*Media Composer | Enterprise Administration Guide* and *Media Composer | Distributed Processing Administration Guide* の "Installation Prerequisites" をご参照の上、Avid MediaCentral Cloud UX Platform ISO および Avid MediaCentral Cloud UX Feature Pack ISO のサポートバージョンをご確認ください。

MediaCentral | Production Management 環境へのインストールの前に

アップグレードの前に“Avid Editor Compatibility with Interplay Releases”をご参照ください。編集システムのアップグレード時に、Interplay コンポーネントをアップグレードする必要がある場合があります。http://avid.force.com/pkb/articles/en_US/compatibility/Avid-Video-Compatibility-Charts

バッファエラーメッセージ

システムには最低 8GB の RAM が必要です。メモリが 8GB 以下のシステムにアプリケーションをインストールしようとする、バッファエラーが表示され、インストールできません。

解凍時のエラーについて

解凍時に「ファイルパスが長すぎます」とか「ファイル名が長すぎます」というエラーが出た場合は、.zip ファイルを c: に置いて解凍してください。

“Raise Thread Priority”権利

(Windows) ドメイン管理者の方へ: システムがドメイン管理下にあるときは、ユーザーに“Increase Scheduling Priority”権限を与えてください。この操作は、ドメインコントローラーのドメイングループポリシーで、ユーザーまたはグループに対して明示的に与えられなければなりません。通常ユーザーではシステムを起動することができません。

ドメイン管理下にいる場合はドメイン管理者に相談の上、インストールと最初の起動はドメイン管理者に依頼するようにしてください。

管理者 (Administrator) としてインストール

最初のインストールと起動は管理者 (Administrator) として行う必要があります。共有ストレージ環境にいる場合は、ワークスペースを Administrator としてマウントしてください。その後、ログオフして通常のユーザーとしてログインし直してください。

インストールの後に AMA プラグイン

アプリケーションのバックグラウンドサービスが稼働中は AMA プラグインをインストールすることはできません。AMA プラグインをインストールする前に、バックグラウンドサービスを停止してください。バックグラウンドサービスの起動/停止は、メニューバー (Mac) またはタスクバー (Windows) から行えます。AMA プラグインをインストールしたら、バックグラウンドサービスを再起動してください。詳細は Help の“Starting and Stopping Avid Background Services”をご参照ください。

ソフトウェア・ライセンスについて

OS をアップデートする時は

アプリケーションをインストールした後で OS をアップグレードする必要がある場合は、まずソフトウェアをディアクティベートしてください OS をアップグレードした後、必要であればアプリケーションを再インストールした後でソフトウェアを再アクティベートできます。ライセンスのアクティベート/ディアクティベートに関する詳細は *Installation Guide for Avid Editing Applications* をご参照ください。

RAM 最小要件

このリリースでは、最小 16GB RAM、32GB RAM が推奨です。特定の機能ではさらに RAM が必要な場合もあります、詳細は p.12 「機能別稼働要件」を参照ください。

認証ハードウェアとオペレーティングシステム

特定の機能は CPU に大きな負荷をかけるものや特定のハードウェアが必要な場合があります。詳細は p.12 「機能別稼働要件」をご参照ください。

以下の表は、Windows および Macintosh で認証されているハードウェアです。

3rd パーティ製 Open IO ハードウェアの認証情報については、各ベンダーから発行されている文書をご参照ください。Open IO については http://avid.force.com/pkb/articles/en_US/faq/en422991 をご参照ください。

以下は認証されているオペレーティングシステムです。お使いのハードウェアに応じ、以下のオペレーティングシステムをサポートしています。

- Windows 10 64-bit 20H2、21H1 以降 (Professional、Enterprise)
- Windows 11 64-bit 21H2、22H2 以降 (Professional、Enterprise)
- Macintosh v10.15.7、v11.0～v11.7、v12.x ～ v12.6



macOS 10.14.6 Mojave は Media Composer 22.4 以降ではサポートされません。



CrowdStrike Anti-virus Protection は macOS v12 で認証されていません。



Mac OS v10.13.x (High Sierra)において、Apple はカーネルエクステンション (KEXT) の手動での読み込みを必要とする仕様に変更しています。例えば Avid Nitris DX、Blackmagic、AJA 等の I/O デバイスはカーネルエクステンションのインストールが必要ですが、これらは自動ではインストールされず、結果として「KEXT が読み込まれていない」旨のメッセージを受け取ることになります。この場合、システム設定の「セキュリティとプライバシー」を開き、手動で KEXT を認証してください。I/O デバイスのドライバーをインストールするときは「セキュリティとプライバシー」ウィンドウを開いたままにしておくと、ドライバーの動作に認証が必要なことがわかります。ここで 30 分以内に「Allow (許可)」ボタンをクリックしてください。これを行わないと、ドライバーは実行できなくなります。

認証ワークステーションおよびラップトップ

Windows および macOS の認証システムについては、[Avid Qualified System](#) の Windows または macOS の該当 PDF をご参照ください。

機能別稼働要件

機能の一部には、CPUに高い負荷をかけるものがあります。その結果、古いシステムでは性能が発揮できない場合があります。以下の表は、機能ごとに必要なハードウェア要件です。システムの認証状況については「[認証ワークステーションおよびラップトップ](#)」をご参照ください。

機能	要件	推奨システム
16K プロジェクト	96GB RAM 以上	48 Core Intel CPU systems with Nvidia RTX graphics
高解像度、高フレームレート XAVC-I メディアの編集 (UHD/4K 59.94p) Color Adapter 付き 4 ストリーム	64GB RAM 以上 96GB RAM 推奨	HP Z8, Z6, Lenovo P920, P720 systems Dell 7920, Dell 7820 <ul style="list-style-type: none"> Dual Xeon Gold 6154 3.0 Ghz, turbo up to 3.7 Ghz 18-core (72 cores with Hyperthreading) AMD WX-7100 Nvidia RTX 5000, RTX 6000, AMD WX9100 Storage: 10Gb Ethernet Avid NEXIS
1080p/50 XAVC Long ベース バンドキャプチャー	32GB RAM 以上	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading
高解像度、高フレームレートの編集 (UHD/4K 59.94p)	32GB RAM 以上 64GB RAM 推奨	HP Z8, Z6, Lenovo P920, P720 systems HP Z840/Z820 HP Z640/Z620 Dell 7920/7910/T7610 Dell 7820/7810/T5610 Lenovo P910/P900 Lenovo P710/P700 <ul style="list-style-type: none"> NVIDIA P5000, M5000 or K5200, AMD WX-7100 PCIe Gen3 Gfx Card (推奨) Mac Pro <ul style="list-style-type: none"> 12 core (24 with Hyperthreading) 3 GHz Dual AMD FirePro 500/700 Graphics card Storage: 10Gb Ethernet NEXIS
高解像度 (2K 以上) メディアの編集	32GB RAM 以上	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading
DMF、バックグラウンドトランスコード、バックグラウンドレンダリング	32GB RAM 以上推奨	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading
Media Composer Cloud	16GB RAM 以上 システムモデルにより、	i7 Quad Core 以上、 Hyperthreading

機能	要件	推奨システム
	24GB 以上推奨	
J2K キャプチャー	16GB RAM 以上	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading
ストリーム数の多いシーク エンスでの XDCAM Long GOP 9 面マルチカメラ	32GB RAM 以上	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading Storage : 10Gb Ethernet ISIS
ステレオ 3D	ステレオ 3D 編集には、パフ ォーマンスの高いマシンを お使いください。ステレオ 3D では 12GB RAM 以上を推 奨します。	認証 PC Dual 6 Core 以上 認証 Mac Pro 6 Core 以上、 12 Core with Hyperthreading
XDCAM HD50 キャプチャー	Open I/O を使用したキャプ チャー	認証システム
HD RGB 444 Apple ProRes 4444 DNxHD 444	HD RGB キャプチャーには Open I/O デバイスと高性能 マシン、高速なストレージ が必要です。	Dual 6 Core 以上の認証 PC Mac Pro 6 Core 以上の Mac、 12 Core Hyperthreading Storage: 10Gb Ethernet ISIS
AMA (QuickTime)	AMA は CPU に高い負荷をかけ ます。性能が低いマシンだとパ フォーマンスが発揮できない場 合があります。特に H.264 では リアルタイムパフォーマンスが 落ちる可能性があります。	圧縮率が高いメディアを大量に 使う場合は高性能のマシン (Dual 6 Core または Dual 8 Core) をお使いください。
AMA (RED)	AMA は CPU に高い負荷をかけ ます。より高いパフォーマンス が必要なときは、高性能のマシ ンをお使いください。	認証 Xeon システム RED プラグインはグラフィック プロセッサを使用します。高 パフォーマンスのグラフィック カードでは、より高いパフォー マンスが期待できます。
AVC-Intra キャプチャー	ソフトウェアコーデックでの AVC-Intra キャプチャーはサポー トされています。	24 Core 以上の Windows システム 注意：問題が起きる場合は AVC-I チップを装備した Nitris DX を使 うか、別のコーデック (DNxHD 等) でキャプチャーした後 AVC-I にトランスコードしてください。
AVC-Intra	AVC-I は高画質低ビットレート の HD コーデックであり、CPU に高い負荷をかけます	4 面マルチカム再生 Dual Quad Core、Dual 6 Core、 Dual 8 Core 4 ストリーム再生 Dual Quad Core、Dual 6 Core、 Dual 8 Core

Avid Artist I/O デバイス互換表

各 Avid Artist I/O デバイスをサポートする Media Composer バージョンです。

使用する際は、[Avid Master Account](#) より、適切なドライバーをダウンロードしてください。

デバイス	サポートする Media Composer バージョン
Avid Artist DNxIO	Media Composer v8.4.1 以降
Avid Artist DNxIQ	Media Composer v8.8.3 以降
Avid Artist DNxIV	Media Composer v8.10 以降
Avid Artist DNxIP	Media Composer v2018.8
Avid Artist DNxID	Media Composer v2018.9

システムバージョン互換表

Media Composer で認証されている NVIDIA® ドライバー、QuickTime®、Windows Media™、共有ストレージ、Sony® XDCAM™、Panasonic® P2、Avid Artist シリーズの各バージョンです。Web サイトの”[Documentation and Version Matrix](#)”も併せてご参照ください。

重要：3rd パーティ製品（Sorenson、Boris 等）については、各社 Web サイトをご参照ください。

製品名	バージョン	コメント
QuickTime	v7.7.9 (Windows) v10.x (v7.x Legacy) (macOS)	QuickTime v10.x には QuickTime Pro オプションは含まれていません。 Windows 10ではQuickTimeはサポートされていません。 https://avid.secure.force.com/pkb/articles/en_US/How_To/QuickTime-Support-and-Security-on-Windows
Avid Interplay	互換性については Knowledge Base をご参照ください。	重要 ：編集システムにインストールする Interplay コンポーネントは、編集アプリケーションがリリースされた時期のバージョンをお使いください。これには、Media Indexer、Interplay Access、Interplay Framework、Interplay Transfer Client、ProEncode Client が含まれます。Interplay Server Component のバージョンは以前のままでも構いません。詳細は Knowledge Base の“Avid Editing Application Compatibility with Interplay Releases”をご参照ください。
NVIDIA ドライバー	v513.46	詳細は p.16 「 NVIDIA カードのセットアップ 」をご参照ください。 ステレオ 3D 用のドライバー設定方法については、Stereoscopic 3D Workflow Guide の NVIDIA Setup Info をご参照ください。
AMD ドライバー	v2022.Q2	注意：v2022.Q3 にはアップデートしないでください。Media Composer ga 動作しなくなります。
共有ストレージ	Avid NEXIS、Avid ISIS	詳細は p.16 「 共有ストレージサポート 」をご参照ください。
Sony XDCAM	v2.13 (XDCAM Transfer for Macintosh) Windows FAM v2.3.2、 VFAM v5.0.2	PDW-U1 の VFAM ファームウェアバージョンは 2.600 です。PDW-U2 では 2.810 です。 ドライバーは Sony ウェブサイトからダウンロードしてください。
Panasonic P2	v3.1.7 (Macintosh) v2.24 (Windows)	現時点では Macintosh では P2 への書き戻しはサポートされていません。
Avid Artist シリーズ (Euphonnix)	EuControl ソフトウェア v3.4	Artist シリーズ User’s Guide をご参照ください。

オーディオデバイスとの互換について

オーディオハードウェアおよびソフトウェアの互換については、以下の表をご参照ください：

ハードウェア/ソフトウェア	参照先
コントロール・サーフェス	Supported Control Surfaces

ハードウェア/ソフトウェア	参照先
Avid Artist I/O	Supported Avid Artist I/O Devices
Media Composer と Pro Tools との共存	Co-install information for Media Composer and Pro Tools

NVIDIA カードのセットアップ

NVIDIA カードをセットアップする前に、正しいドライバーバージョンをインストールしていることを確認してください。必要であれば正しいドライバーをインストールしてください。サポートしているドライバーバージョンについては、p.14「[システムバージョン互換表](#)」をご参照ください。

ドライバーは nvidia.com からダウンロードしてください。

NVIDIA ドライバーバージョンを確認するには:

1. デスクトップを右クリックし、NVIDIA コントロールパネルを選択します。Windows コントロールパネルから NVIDIA コントロールパネルを開くこともできます。
2. 左下隅の「システム情報」をクリックします。
「グラフィックカード情報」にバージョンナンバーが表示されます。

NVIDIA ディスプレイドライバーをインストールするには:

1. 必要なドライバーを nvidia.com からダウンロードします。
2. ドライバーインストーラーをダブルクリックします。
3. 画面の指示にしたがってインストールした後、システムを再起動します、

マルチディスプレイをセットアップするには:

1. デスクトップを右クリックし、NVIDIA コントロールパネルを開きます。
2. 左側のペインから「複数のディスプレイの設定」をクリックします。
3. リストから必要なディスプレイを選択します。

Avid 環境用にドライバーをセットアップするには

1. デスクトップを右クリックし、NVIDIA コントロールパネルを開きます。
2. 「3D 設定の管理」をクリックします。
3. 「グローバル設定」タブをクリックします。
4. 「グローバルプリセット」プルダウンメニューから「ベースプロファイル」を選択します。
5. 「設定」ペインをスクロールし、「電源管理モード」から「パフォーマンス最大化を優先」を選択します。
6. 「適用」をクリックします。

NVIDIA ソフトウェアをインストールした後は、インストーラーの指示がない場合でも必ずシステムを再起動してください。

Windows のドライバーロールバック機能（「ドライバーを元に戻す」機能）は NVIDIA ドライバーには使用しないでください。ドライバーのバージョンは、NVIDIA ドライバーインストーラーがインストールしたその他のコンポーネントと一緒になければなりません。

共有ストレージサポート

共有ストレージサポートについては、以下の文書の Avid NEXIS および Avid ISIS の表をご参照ください。

http://resources.avid.com/SupportFiles/Attachments/Interplay_MediaCentral_Support_Matrix.pdf

Legal Notices

Product specifications are subject to change without notice and do not represent a commitment on the part of Avid Technology, Inc.

This product is subject to the terms and conditions of a software license agreement provided with the software. The product may only be used in accordance with the license agreement.

This product may be protected by one or more U.S. and non-U.S patents. Details are available at www.avid.com/patents.

No part of this document may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying and recording, for any purpose without the express written permission of Avid Technology, Inc.

Copyright © 2021 Avid Technology, Inc. and its licensors. All rights reserved. Portions ©

Copyright 2003-2007 of MOG Solutions.

Attn. Government User(s). Restricted Rights Legend

U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS. This Software and its documentation are "commercial computer software" or "commercial computer software documentation." In the event that such Software or documentation is acquired by or on behalf of a unit or agency of the U.S. Government, all rights with respect to this Software and documentation are subject to the terms of the License Agreement, pursuant to FAR §12.212(a) and/or DFARS §227.7202-1(a), as applicable.

Trademarks

Avid, the Avid Logo, Avid Everywhere, Avid DNXHD, Avid DNXHR, Avid Nexis, AirSpeed, Eleven, EUCON, Interplay, iNEWS, ISIS, Mbox, MediaCentral, Media Composer, NewsCutter, Pro Tools, ProSet and RealSet, Maestro, PlayMaker, Sibelius, Symphony, and all related product names and logos, are registered or unregistered trademarks of Avid Technology, Inc. in the United States and/or other countries. The Interplay name is used with the permission of the Interplay Entertainment Corp. which bears no responsibility for Avid products. All other trademarks are the property of their respective owners. For a full list of Avid trademarks, see: <http://www.avid.com/US/about-avid/legal-notices/trademarks>.

Adobe and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. Apple and Macintosh are trademarks of Apple Computer, Inc., registered in the U.S. and other countries. Windows is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. All other trademarks contained herein are the property of their respective owners.

Avid Media Composer ReadMe • Created 10/20/22